東九州地域の活性化推進に関する要望

２０２５ 年 ８ 月

東九州軸推進機構
会 長 池 辺 和 弘

東九州地域の活性化推進に関する要望

２０２５　年　　８　月
東 九 州 軸 推 進 機 構

豊かな自然に恵まれた東九州地域は、我が国の食料・木材供給基地であり、温泉をはじめとする観光資源に恵まれ、さらに、東九州メディカルバレー構想による医療機器産業の集積や自動車・ハイテク産業の進出が進んでいます。

東九州自動車道は、2023 年 3 月に北九州市から宮崎県日南市まで広域に開通したことに伴い、人流・物流が格段に活発化しておりインフラ整備効果が向上しつつあります。さらに、九州縦貫自動車道と連結することにより、九州を一周する循環型高速道路ネットワークが完成し、東九州地域はもちろん、九州全体の産業・経済・文化の一体的浮揚が図られる待望の路線でありますが、計画総延長 436 ㎞のうち未開通区間が約 1 割残っています。

特に、宮崎県日南市から鹿児島県志布志市にミッシングリンク（未開通区間）が存在しており、このままでは南海トラフ地震等の大規模災害時に「命の道」としての機能を果たすことができません。2024 年 8 月には日向灘を震源とする最大震度 6 弱の地震が発生し、国道 220 号が落石による通行止めとなった中、東九州自動車道が代替ルートとして大きく貢献するなど、災害時における地域住民の生命・財産を守る高速道路の必要性・重要性が改めて明らかとなりました。南海トラフ地震等の大規模災害の発生が危惧される中で、一日も早い完成が望まれます。

地方創生の基盤となる地域の産業・経済の発展を支える「活力の道」として、定時性・速達性の確保による物流機能の強化を図るため、暫定 2 車線区間の 4 車線化への早期整備も不可欠です。これによる当地域の半導体関連産業や農林水産業の振興は、日本の経済・食料安全保障に大きく貢献するものと考えます。

また、東九州新幹線は、九州域内の東西格差是正や広域交流圏の形成はもとより、災害に強い国土づくりに向けた基本的な社会インフラであると考えます。東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けた議論を加速させ、整備予算の拡充や新たな財源の活用など、我が国の成長を牽引する地方の発展を支える新幹線整備の仕組みを抜本的に改革していく必要があると考えます。

さらに、東九州はもとより九州地域の一体的な発展のためには、九州と域外とを繋ぐ広域交通ネットワークの形成により、九州外の都市圏との時間距離を大幅に短縮し、広域的な人流・物流の更なる強化を図る必要があります。

政府におかれましては、このような東九州地域の実情を踏まえつつ、インフラ整備は地域経済を下支えするものであることから、令和 8 年度政府予算編成にあたっては、次の事項につきまして各段のご高配を賜りますよう強く要望いたします。

Ⅰ．循環型高速交通網の整備拡充（高規格道路等の整備促進）【国土交通省】

東九州地域における東九州自動車道等の高規格道路は、農林水産物の販路拡大、自動車関連産業の更なる集積、広域観光ルートの形成や高度医療施設へのアクセス向上など、九州全体の産業・経済・文化の一体的発展を図るうえで、陸・海・空の交通ネットワークの骨格をなす最重要路線である。

また、災害時における高規格道路の果たす役割は大きく、支援ルートや代替ルートとして大きく貢献するなど「命をつなぐ道」としての機能を期待する。

そのため、循環型高速交通網の整備や激甚化・頻発化する災害への防災・減災対策、老朽化対策を含めた国土強靭化のための道路整備が必要不可欠である。

１．東九州自動車道の整備促進

（１）事業中区間の早期完成

- 一般国道 220 号 日南・志布志道路
- 一般国道 220 号 油津・夏井道路
- 一般国道 220 号 南郷奈留道路

（２）暫定 2 車線区間の 4 車線化事業中区間の早期完成

- みやこ豊津ＩＣ～築城ＩＣ間の約 1.2km
- 築城ＩＣ～椎田南ＩＣ間の約 7.7km
- 宇佐ＩＣ～院内ＩＣ間の約 1.5km
- 大分宮河内ＩＣ～臼杵ＩＣ間の約 6.8km
- 大分宮河内ＩＣ～津久見ＩＣ間の約 6.0km
- 津久見ＩＣ～佐伯ＩＣ間の約 3.3km
- 高鍋ＩＣ～西都ＩＣ間の約 4.7km
- 宮崎西ＩＣ～清武ＩＣ間の約 3.7km
- 末吉財部ＩＣ～国分ＩＣ間の約 7.1km

（３）4 車線化準備調査箇所の着実な事業化

- 行橋ＩＣ～みやこ豊津ＩＣ間の約 5.5km
- 臼杵ＩＣ～津久見ＩＣ間の約 4.2km

（４）暫定 2 車線区間における 4 車線化の着実な実施

- 優先整備区間の早期事業化及び未選定区間の追加選定

（５）休憩施設の更なる充実

- 延岡南ＩＣ～川南ＰＡ間に新たな休憩施設の設置

２．九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)の整備促進

（１）事業中区間の早期完成

- 一般国道 218 号 矢部清和道路
- 一般国道 218 号 蘇陽五ヶ瀬道路
- 一般国道 218 号 五ヶ瀬高千穂道路
- 一般国道 218 号 高千穂雲海橋道路

（２）未事業化区間の早期事業化
・清和ＩＣ～蘇陽ＩＣ間
（３）計画段階評価の推進
・平底～蔵田間

３．高規格道路の整備促進
中九州横断道路(大分～熊本間)、中津日田道路、大隅縦貫道などの事業促進

Ⅱ．交流・連携に不可欠な社会資本の整備 【国土交通省】

１．日豊本線の高速化促進
東九州地域を縦貫する唯一の幹線鉄道である日豊本線の高速化・複線化を実現するため、鉄道整備に係る制度の拡充・強化を図る。

２．下関北九州道路の早期事業化
既存道路ネットワークの課題の解消及び関門トンネル・関門橋の代替機能の確保、循環型ネットワーク形成による下関・北九州地域の一体的発展のために必要な下関北九州道路の早期事業化を図る。

３．東九州新幹線の整備計画路線への格上げ
九州域内の東西格差の是正と均衡ある発展を支える新幹線ネットワーク形成に資する東九州新幹線の早期整備を実現するため、整備計画路線格上げに向けた法定調査を実施する。あわせて、整備推進のための財政措置の一層の拡充や、新たな財源の確保について検討する。

４．豊予海峡ルート構想の実現に向けた調査
九州が強みをもつ産業（半導体、農林水産業等）や地域経済の成長力強化、関西や中国、四国地方との交流促進、災害発生時のリダンダンシー確保のために、大分と愛媛を結ぶ豊予海峡ルート構想（高規格道路、新幹線）の実現に向けた調査を実施する。

５．北九州空港の機能拡充
東九州自動車道とのアクセスが良く 24 時間利用可能な海上空港であるという特性を活かし、物流拠点化の推進や大型貨物機による安定した離着陸を確保するため、北九州空港の 3,000ｍ滑走路の早期供用を実現する。

６．港湾機能の強化
北九州港、大分港、細島港、志布志港等において、トラック輸送のドライバー不足や長距離ドライバーの過重労働の解決策とする内航フェリー、ＲＯＲＯ船の輸送の効率化及び新規航路の開設、さらに木材等の地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備の促進を図る。

Ⅲ．産業振興・地域活性化の促進 【国土交通省・総務省】

１．地方拠点都市地域の整備促進

東九州地域の一体的発展に資するため、「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」に基づき、都市基盤整備に関する特段の予算措置を図る。

２．東九州地域における高度情報通信社会実現に向けた情報通信基盤の整備促進

情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した高度情報通信社会の実現を推進するため、東九州地域における光ファイバー網や第 5 世代移動通信網等の情報通信基盤の早期整備に向けた施策の充実・強化を図る。

以　上

２０２５ 年　８ 月

東九州軸推進機構

会　長	池　辺　和　弘	((一社)九州経済連合会会長)
副会長	津　田　純　嗣	(北九州商工会議所会頭)
副会長	吉　村　恭　彰	(大分商工会議所会頭)
副会長	米　良　充　典	(宮崎商工会議所会頭)
副会長	岩　崎　芳太郎	(鹿児島商工会議所会頭)
副会長	小笠原　　浩	(福岡経済同友会代表幹事)
副会長	後　藤　富一郎	(大分経済同友会代表幹事)
副会長	杉　田　浩　二	(宮崎経済同友会代表幹事)
副会長	岡　　恒　憲	(鹿児島経済同友会代表幹事)